

議題説明 2

(2) 第3期福生市バリアフリー推進計画進捗状況について

本計画は、先ほどの地域福祉計画同様、平成27年度に策定し、平成28年度から令和2年度までの計画期間となっております。今回は計画期間の最終年度の進捗状況確認となります。

資料2-1を御覧ください。

令和2年度のバリアフリー推進計画の進捗及び評価です。

まず、A・B・C・D・Eの評価についてですが、欄外(表上)に記載のあるとおり、実施率がAは「90%以上」、Bは「50%から90%」、Cは「50%未満」であり、Dは「未実施」、Eは「対象事業なし」となっています。

進捗状況については、先ほどの地域福祉計画と同様に『AからE』の実績と、その実施内容を記載していますが、バリアフリー推進計画における実績の『E』については、「対象事業なし」の場合に記載する項目として位置付けました。前年度までは、対象事業がない場合であっても『D』の「未実施」で評価されていたため、計画はあったが、単に未実施だったものと区別するために改善したものです。

バリアフリー推進計画は8つの分野で構成されており、分野によってさらに分けられて、各「項目」が102件展開されています。

実績の内訳ですが、A評価が62件、B評価が25件、C評価は0件、D評価は1件で、E評価は14件でした。D評価については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、市税等減収が予想されたため、施設公園課の「健康遊具設置工事」が予算減額補正の対象となり、予定していた工事が次年度以降に見送られたことに伴うものでした。

※参考昨年度(令和元年度)

A評価：78件 B評価：20件 C評価：0件 D評価：4件

資料2-2を御覧ください。

令和2年度バリアフリー推進計画の進捗状況調査一覧です。

各担当課(所管課)からの回答方法については、地域福祉計画と同様です。

全ての個別事業ごとの説明は省略いたします。委員の皆様には後ほどお目通しくださいますようお願いいたします。

最後に、今回が計画期間の最終年度の進捗状況確認ということで、5年間の「総括」を簡単に御説明します。

各課定めた計画に基づき、バリアフリー推進しました。特に大きく前進した項目は、資料2-2、7ページの「4 都市公園 トイレの整備」です。平成30年度には福生駅東口公衆便所が和式便器から洋式便器へ改修し、令和元年度には熊川駅の公衆便所が洋式便器へ改修しました。

以上、説明とさせていただきます。